



東アジア環境情報発信所 活動報告2011年



www.eden-j.org
<http://www.enviroasia.info>



- ◆ Enviroasia（情報収集・発信事業）
- ◆ 中国企業のグリーン・サプライ・チェーンモデル事業（調査・研究事業）
- ◆ 東アジア気候フォーラム2011の開催（啓発・提言事業）
- ◆ アジア3R推進市民ネットワークの運営協力（交流事業）



日中韓環境情報3言語サイト“ENVIROASIA”



《日本》
東アジア環境情報発信所

《中国》
環友科学技術研究センター

《韓国》
韓国環境運動連合(KFEM)

<http://www.enviroasia.info>



日中韓環境情報3言語サイト“ENVIROASIA”

2011年4月～2012年3月

中国語記事	67本
日本語記事	76本
韓国語記事	0本



中国企業のグリーン・サプライ・チェーンモデル事業

中国における水汚染は依然として深刻です。中国で経済活動を行う日本企業と共に、「グリーンサプライチェーン」モデルをつくる事業を展開しています。発伝所は、中国の環境NGOによるネットワーク“緑色選択”の日本における公式パートナーです。



2011年10月北京IPEなど訪問



2011年11月中華環保連合会総会に参加



中国企業のグリーン・サプライ・チェーンモデル事業

2011年8月

企業訪問: 富士ゼロックス、パナソニック

2011年10月

北京訪問: IPE、自然の友、達尔問、環境友好科学技術研究センター

2011年11月

広州訪問: 中華環境保護民間組織総会、グリーンチョイス分科会で発表

2012年3月

東京・大阪で報告会開催



東アジア気候フォーラム2010の開催



大量のモノとサービスが行きかう東アジア。中国のモノづくりの過程で排出されるCO2の責任の一端は、made in Chinaのモノに囲まれて暮らす日本の市民にもあるはず。中国、韓国の環境NGOと共に、「東アジア気候行動ネットワーク」を結成し、世界全体の4分の1のCO2を排出している日中韓全体の排出を削減し、「低炭素東アジア」をめざして活動しています。

2010年
第5回東アジア環境市民会議



東アジア気候フォーラム2011の開催



●平成 23 年度 独立行政法人国際交流基金助成事業●

東アジア気候フォーラム2011

～「低炭素東アジア」実現への道～

2011年9月2日(金)10:00～18:00

オリンピック記念センター 国際会議室

世界の温室効果ガス排出量の25%を占める日本、中国、韓国の東アジア3カ国。中国はCO2排出量世界第1位ですが、日本、韓国とも中国で生産された商品によって生活している以上、気候変動対策には3カ国の連携・協力が不可欠です。

3カ国の環境NGOや専門家たちは、昨年11月に韓国・光州市で開催された第5回東アジア環境市民会議において、温室効果ガスの削減に向けた「東アジア気候行動ネットワーク」を発足しました。

そして、今年3月に日本で発生した東日本大震災と東京電力・福島第一原発事故は、気候変動対策における原子力エネルギーの位置を再考させるものとなりました。そこで、3カ国の気候政策の現状と課題やエネルギーについて検証するフォーラムを開催します。

参加費無料!

同時通訳有り

交流会開催!

●プログラム

- 10:00～10:30 開会あいさつ/来賓紹介/各国代表挨拶
- 10:30～12:00 ●特別報告Ⅰ「福島原発事故・現地からの報告」
昼食休憩
- 12:00～13:00 ●特別報告Ⅱ「3・11で分かった日本の姿」
- 13:00～14:00 ●セッションⅠ【エネルギーの安全性を考える】
- 14:00～15:00 ●セッションⅡ【再生可能エネルギーのシフトへの課題】
- 15:15～16:15 ●セッションⅢ【低炭素東アジア実現への道】
- 16:15～17:45 ●セッションⅣ【低炭素東アジア実現への道】
- 17:45～18:00 閉会あいさつ/18:30 懇親交流会(2時間程度・参加費実費)

●会場案内

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 National Olympic Memorial Youth Center (NYC)

国立オリンピック記念青少年総合センター全体図



<フォーラム会場>

国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟・国際会議室

小田急線・参宮橋駅下車、徒歩5分
正門から正面階段を上がり、右手にセンター棟を見ながら、左手に向かい、交差点を右手に向かう(左図でDの建物)。



アジア3R推進市民ネットワークの運営協力



2006年アジア3R
NGOフォーラム



2009年アジア3Rフォーラ
ムNGOサイドイベント



2010年アジア3R推進
市民フォーラム



アジア3R推進市民ネットワークの運営協力



3R関連NGO調査アンケート

SEC(シンガポール環境評議会)訪問 2011年7月

2011年アジア3R推進市民フォーラム



◆情報収集・発信事業

Eviroasia

◆調査・研究事業

中国企業のグリーン・サプライ・チェーンモデル事業

◆啓発・提言事業

東アジア気候フォーラム2012の開催

◆交流事業

アジア3R推進市民ネットワークの運営協力

東アジアエネルギー国際青年ワークショップ

雲南エコツアーの実施



中国企業のグリーン・サプライ・チェーンモデル事業

第3者機関監査の立ち入り（7月または8月）
「中華環保民間組織年会」開催、
円卓会議（GCA×日本企業）の併催（11月）

東アジア気候フォーラム2012の開催

2012年秋に第3回目となる東アジア気候フォーラム2012を中国で開催



東アジアエネルギー国際青年ワークショップ

これからの社会を担う日中韓3か国の青年がつどい、ワークショップとフィールドトリップを通じて、東アジアのエネルギーの現状の課題と将来を共に考え、持続可能な東アジアの担い手づくりをめざします。

東アジア エネルギー国際青年ワークショップ 2012

－脱原発の東アジアをめざして－

日韓文化交流基金 2012 年度助成事業

3.11の福島第一原発事故がもたらした放射能汚染は、福島のみならず広範囲にわたって深刻な被害をもたらしました。いまだ16万人もの人々が避難生活を余儀なくされている中、大阪原発3・4号機の再稼働を決定した日本、日本と原発プラント輸出でしのぎを削る韓国、急激な経済成長の中で100基以上の原発建設計画をもつ中国、東アジアは世界有数の原発推進地域となっております。

そこで、これからの社会を担う日中韓3か国の青年がつどい、ワークショップとフィールドトリップを通じて、東アジアのエネルギーの現状の課題と将来を共に考え、持続可能な東アジアの担い手づくりをめざします。



自然エネルギー100%の島をめざす祝島を訪問します！
通訳を介して日本語で中国、韓国の青年と議論できます！
東アジアの将来を一緒に考えましょう！



- 日 程：8月4日(土)から8日(水)の4泊5日
- 場 所：岩国市・広島市・祝島(山口県上関市)など
- 参加費：32,000円 ※会場までの交通費は含まれません。
- 対 象：35歳以下の青年を18名募集します ※先着順

●プログラム

- * 第1日/8月4日(土)夜 集合
- * 第2日/8月5日(日)
 - 午前 オリエンテーション…自己紹介&アイスブレイキングなど
 - 第1部 ① 講演「原発推進地帯」東アジアのエネルギー事情 李憲錫(韓国エネルギー正義行動)
 - 午後 ② 講演「福島第一原発事故が与えた影響」山崎求博(東アジア環境情報発信所)
 - ③ 講演「原子力研究機関から市民団体へ」趙中(中国グリーンキャメルベル)
 - ④ 知識の整理&感想の共有
 - 夜 第2部 「2050年の東アジアのエネルギー事情をイメージする」
- * 第3日/8月6日(月)
 - 日中 フィールドトリップ「広島」(平和記念資料館などを訪問)
 - 夜 Peace Café「フリートーク」
- * 第4日/8月7日(火)
 - 日中 フィールドトリップ「祝島」現地ガイド：高島美登里さん(長島の自然を守る会)
 - 夜 第3部 オルタナティブな未来を考える
- * 第5日/8月8日(水)午前 解散



雲南エコツアーの実施

時期：11月18日の週

中国雲南省・麗江で進めている
バイオマス活動と環境教育現場を
訪ねます！

